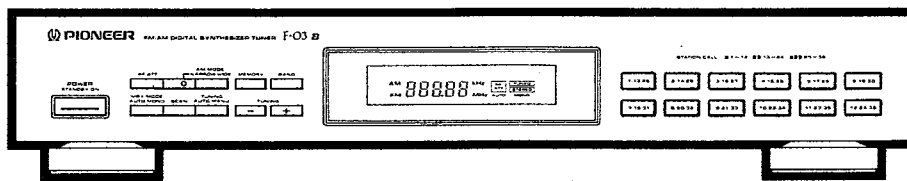


# F-03

FM/AMデジタルシンセサイザー・チューナー



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。  
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に「使用上のご注意」は必ずお読みください。  
お読みになった後は「保証書」「サービス窓口、ご相談窓口」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

## 安全のために！

本文中に記載されているこの表示は、誤った使い方をした場合、あなたや他の人々に危険をおよぼすおそれのあることについて書かれています。  
注意深くお読みください。

# 目次

使用上のご注意 .....	3
アフターサービス .....	4
特長 .....	5
付属品の確認 .....	5
接続 .....	6
名称と機能 .....	8
<b>操作</b>	
FM/AM 放送をきく .....	11
FM/AM 放送のプリセット選局 .....	13
プリセットメモリーの方法 .....	13
プリセットメモリーでの選局 .....	14
故障?と思ったら .....	15
仕様 .....	裏表紙

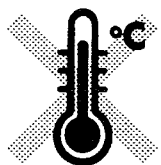
# 使用上のご注意

## 安全のために！

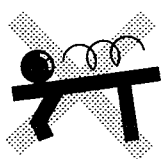
故障や火災・感電を未然に防ぐために必ずお守りください



■湿気やホコリの多い所へは置かない  
湿気やホコリの多い所、調理台のそばなど油煙や蒸気が当たる所には置かないでください。



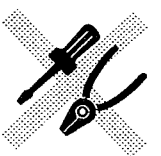
■暖房器具の近くには置かない  
ストーブなどの発熱体のそばや直射日光の当たる所に置かないでください。



■不安定な所や振動のある所へは置かない  
傾いた所や振動のある所、ぐらつくような台の上には置かないでください。落ちたり、倒れたりして危険です。



■液体をこぼさない  
本機の上に水の入ったコップや花瓶、金魚鉢、化粧水などを置かないでください。万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。



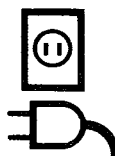
■分解しない  
本機のキャビネットははずさないでください。電圧の高い部分がありますので内部をさわると感電するおそれがあります。改造は発煙、発火の恐れがありますので絶対にしないでください。お客様の改造による性能の劣化や故障は当社では責任を負いません。



■電源コードは引っ張らない  
電源コードの抜き差しは電源プラグを持って行ってください。また、ぬれた手で取り扱っていると感電の恐れがあります。電源コードは製品や家具などの下に敷いたり、物にはさんだりしないでください。また、他のコードを巻き足したり、往來の激しい場所に放置しないでください。コードを損傷させ、感電や火災の恐れがあります。電源コードはときどき点検して、傷んでいたら交換を依頼してください。



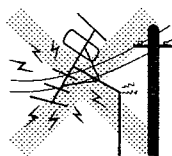
■異常に気がいたら電源プラグを抜く  
万一、異常な音やにおい、煙が出たときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。



■長時間使用しないときは電源プラグを抜く  
外出、旅行などで長時間留守にされるときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

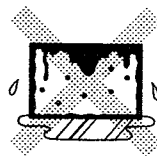


■交流100ボルト以外では使用しない  
本機は日本国内専用仕様（交流100V）です。クーラー用などの200Vコンセントには接続しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源にも使用できません。



■アンテナを建てる時は専門の業者へ  
妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお建てください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。なお、アンテナ工事には技術と経験が必要ですのでバイオニアサービスセンター、サービスステーション、または販売店にご相談ください。

## 結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

## 製品のお手入れについて

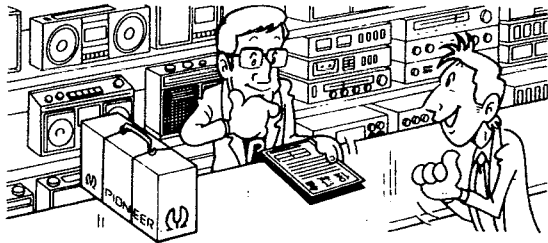


通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

●本機の修理および内部の点検、調整はバイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお買い上げの販売店にご依頼ください。

# アフターサービス

## ■保証書 (別に添付してあります。)



保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## ●保証期間はご購入日から1年間です。

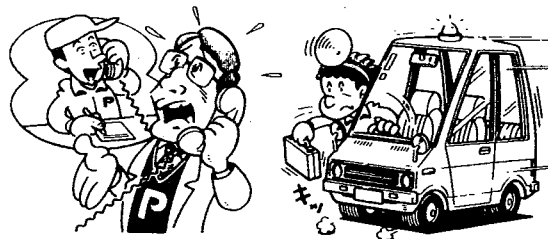
### ■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■アフターサービス等について おわかりにならないとき

本機に関するご質問、ご相談はお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(IC)をご利用ください。所在地、電話番号は付属の「サービス窓口・ご相談窓口」をご覧ください。

## ■修理を依頼されるとき



もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認の上、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

## ●保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。またはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って修理致します。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日 (製品名: F-03)
- 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標 (建物、公園など)

## ●保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

# 特長

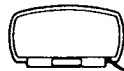
- AM ステレオ放送対応
- <sup>ワイド</sup> WIDE / <sup>ナロー</sup> NARROW のポジション切替機能 (AM MODE)
- 36局ランダムプリセット
- FM RF ATT を装備
- オートチューニングシステム
- 強制 FM/AM モノスイッチ (マルチプレックスモード)
- システムリモコン端子装備

# 付属品の確認

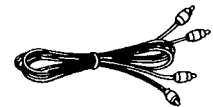
- FM T字型アンテナ



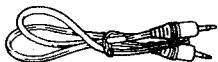
- AMループアンテナ



- ピンプラグ付接続コード



- コントロールコード



- 保証書

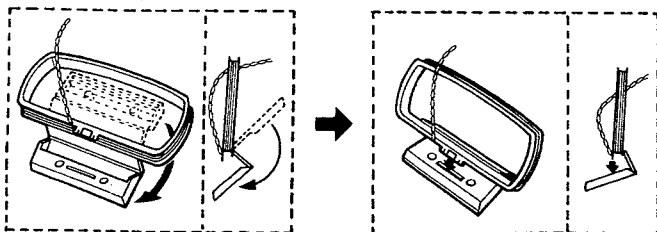
- サービス窓口・ご相談窓口

- 取扱説明書

## AMループアンテナを組み立てる

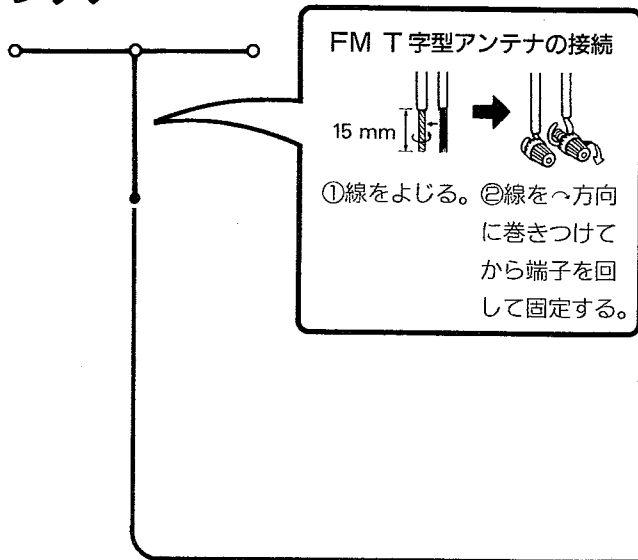
□台の部分をくるっと回します。

図つめを差し込みます。

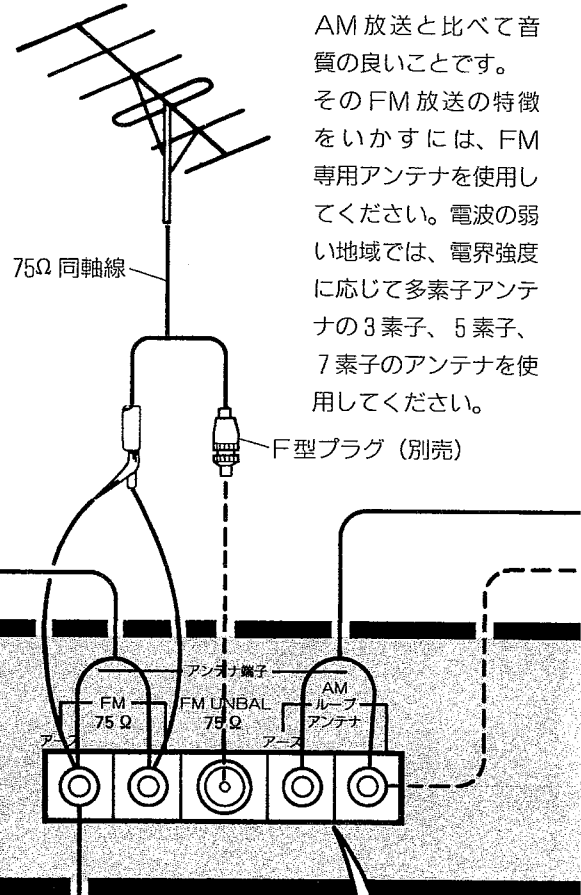


# 接続

## ■付属のFM T字型アンテナ



## ■FM 屋外アンテナ



● FM 放送の特徴は AM 放送と比べて音質の良いことです。その FM 放送の特徴をいかすには、FM 専用アンテナを使用してください。電波の弱い地域では、電界強度に応じて多素子アンテナの3素子、5素子、7素子のアンテナを使用してください。

## ■アンテナアース

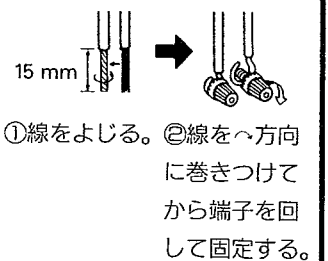
接続しなくても放送は受信できますが、FM 屋外アンテナを設置したときは、雷の対策としてアースをしてください。

また雑音除去のためにもなるべくアースをすることをおすすめします。

※ガス管には絶対に接続しないでください。ガスに引火することがあり危険です。




## ループアンテナの接続

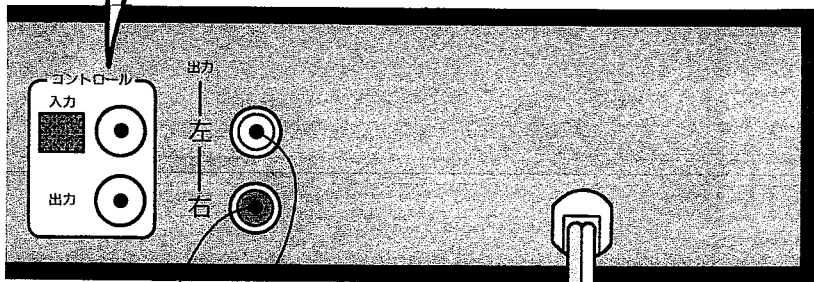


## ■システムリモコン端子装備

### ※リモートコントロールコードの接続

- 弊社の  マーク付のアンプと組み合わせて、アンプに付属のリモコンユニットにより、本機の基本操作を行うことができます。
- 付属のコントロールコードを使って本機のコントロール入力端子とアンプのコントロール出力端子をつなぎます。

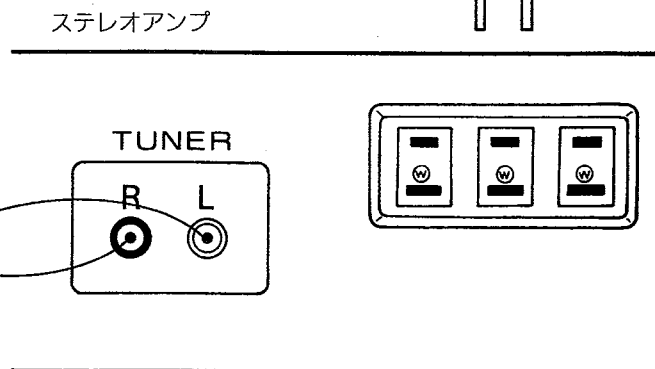
※弊社のリモートコントロール信号の入出力端子です。



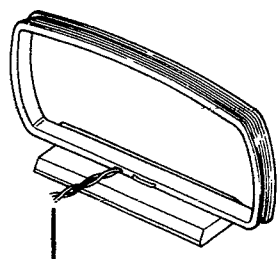
- 本機の出力端子は、音質重視設計のために、光沢のないスズを使用しています。

### ■ピンプラグ付き接続コードの接続

- 白いプラグは白い端子(L)に、赤いプラグは赤い端子(R)につなぎます。
- プラグは必ず奥まで差し込みます。



## ■AM ループアンテナ



AM 屋外アンテナ

- 平らな面でアンテナをセットし、電波受信が最良となる方向に向けます。壁などに取り付ける場合は受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めます。
- ボンネットの上やその他の金属物、CDプレーヤー、パソコン、テレビなどのそばにアンテナを置かないで下さい。
- ◎アンテナをつながないと AM 放送を受信できません。
- AM 外部アンテナ.  
AM ループアンテナの位置や方向を変えてみても放送が良好に受信できないときは、AM 室内アンテナまたは AM 屋外アンテナを AM 端子に接続してください。AM 室内アンテナまたは AM 屋外アンテナを接続した場合も、AM ループアンテナは必ず接続しておいてください。

## ■電源コードの接続

本機は電源の極性管理がされていますので、次の方法で接続することをおすすめします。白線側がアース側になっていますので、本機の電源コードの白線側と極性管理されたアンプのアース側、または家庭用コンセントの溝の長いほうに合わせて差し込みます。

白線側

# 名称と機能

## RF アッテネーターボタン

FM 放送の電波が強すぎて音がひずんだりするとき、このボタンを押して、(RF ATT)インジケータを点灯させます。音のひずみが軽減されます。

※ AM 放送受信時には働きません。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

## AM モード ナロー／ワイド ボタン／インジケータ

AM 放送を受信中に違う周波数の放送局から電波の妨害を受けたり、音が混ざりあったりしたときには、このボタンを押して NARROW にします。押すと左側にあるインジケータが点灯し、音が聞きやすくなります。

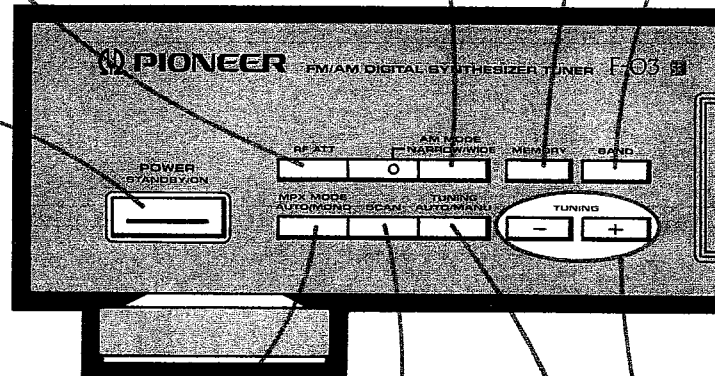
通常は WIDE にしておきます。

※ FM 放送受信時には働きません。

※このボタンの設定状態はステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

## 電源スイッチ

電源の ON / OFF をします。



## マルチプレックスモードボタン

ボタンを押すことに次のように変化します。

→AUTO: ステレオ放送は自動的にステレオになります。

→MONO: ステレオ放送も強制的にモノラルにします。  
MONO インジケータが点灯します。

※このボタンの設定状態は、ステーションメモリーに放送局ごとメモリーされます。

## スキャンボタン

ステーションにメモリーされた放送局を約5秒ずつ順番に受信します。

TUNED インジケータが点灯しない場合、次のステーションにすぐに移ります。

## チューニングオート／マニュアルボタン

オートチューニングとマニュアルチューニングの切換えをします。

オートチューニングを選択すると AUTO インジケータが点灯します。



## メモリーボタン

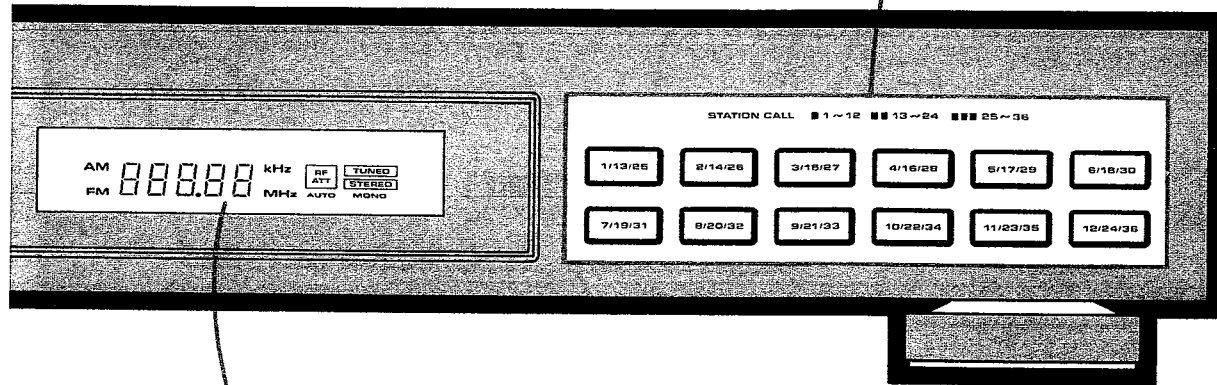
放送局をプリセットするときに使います。(13ページ参照)  
 押すと受信バンド及び周波数表示が点滅します。その間に  
 ステーションコールボタンを押してメモリーします。

## ステーションコールボタン

放送局をプリセットするとき(13ページ参照)や、プリセ  
 ットした放送を受信するとき(14ページ参照)に使います。

## バンド切換ボタン

ボタンを押すことに FM / AM が切り換わります。



## オペレーションディスプレイ

## チューニングボタン

希望の放送局に合わせるときに押します。表示している周  
 波数より高い周波数の放送局を受信したいときは、+を押  
 します。表示周波数より低い周波数の放送局を受信した  
 いときは、-を押します。



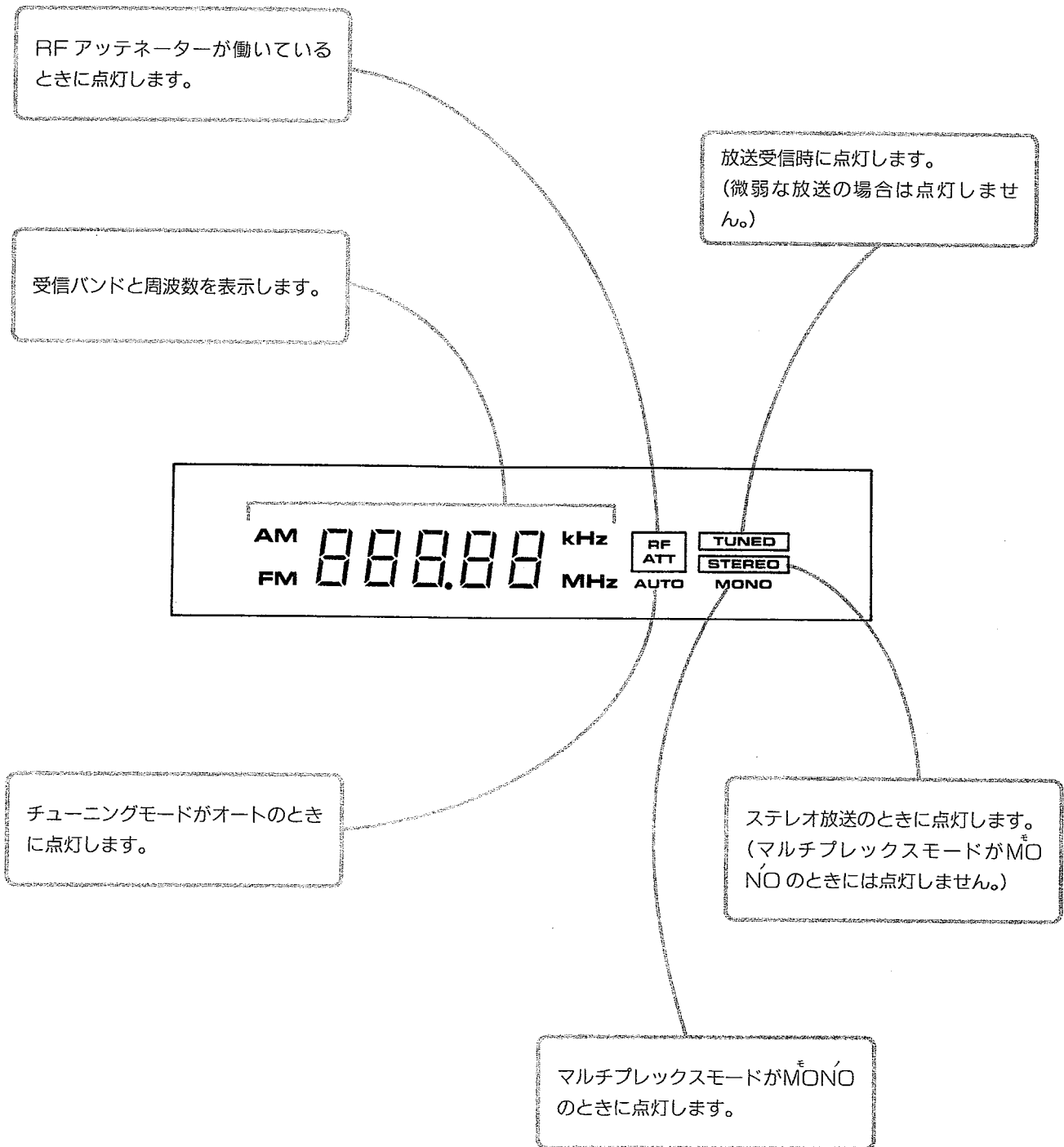
### AM ステレオ放送とは…

AM ステレオ放送は従来の FM ステレオ放送と比べ  
 ると受信地域が広く、山かげや高い建物のそば、また  
 車での移動時などでも比較的安定して受信できます。  
 本機は AM 放送の受信中にステレオ番組が放送され  
 れば、自動的にステレオ音声に切り換わります。FM  
 ステレオ放送と同様に、AM ステレオ放送も臨場感  
 あふれるダイナミックなステレオ音声でお楽しみくだ  
 さい。

AM ステレオ放送は、一部の地域の放送局でしか行  
 われていません。(1993年8月現在)

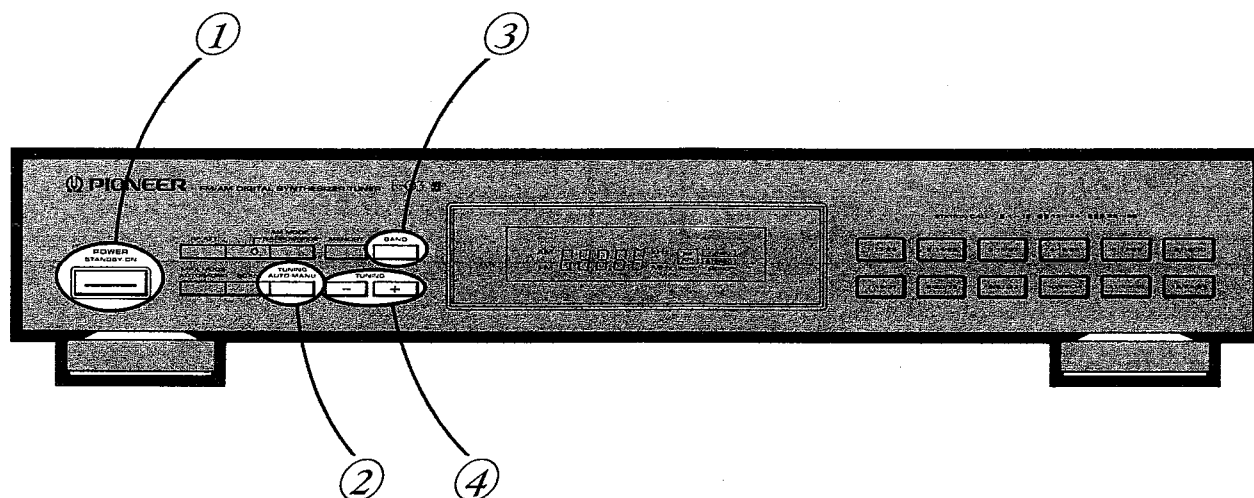
# 名称と機能

## オペレーションディスプレイ



# 操作

## FM/AM 放送をきく



■数字の順に操作してください。

**1** 電源スイッチを ON にする

**2** チューニングオート／マニュアルボタンでオートチューニングかマニュアルチューニングかを選ぶ

■オートチューニング

- チューニングボタンの+または-を押すと、周波数が自動で変わっていきます。放送を受信すると止まり、表示部の「TUNED」インジケータが点灯します。

■マニュアルチューニング

- チューニングボタンの+または-をポンと短く押すと、周波数が1ステップずつ変化します。
- チューニングボタンの+または-を押し続けると周波数が連続して変化します。指を離すとそこで止まります。

**3** バンド切換ボタンでFMバンドかAMバンドを選ぶ

- FMバンドのときは「FM」と「MHz」が点灯し、AMバンドのときは「AM」と「kHz」が点灯します。

**4** チューニングボタンの+または-を押して放送を受信する

放  
き

## AM 放送受信時、隣接局の妨害 や混信がある場合

AM モード ナロー/ワイドボタンを押してナローにすると左側にあるインジケーターが点灯し、音が聞きやすくなります。

## FM 放送を受信する場合

- ステレオ放送に雑音が入って聞きづらいときは、マルチプレックスモードボタンを押して MONO インジケーターを点灯させます。モノラル受信になり、聞きやすくなります。
- 音がひずむときは RF アッテネーターボタンを押して **RF ATT** インジケーターを点灯させます。

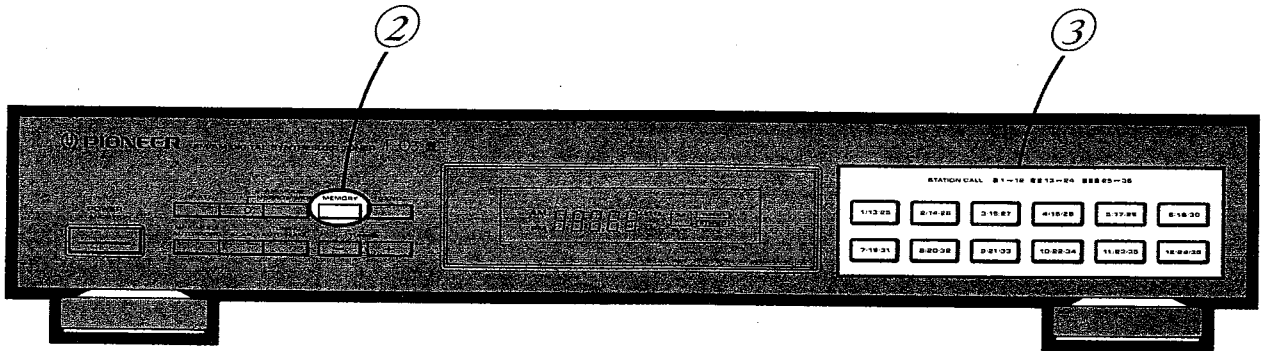
### ■オートチューニングについての注意

- 本機は高感度のため、ことに夜間では電波伝搬が良いため、微弱な海外放送局でも自動停止することがあります。また、都市雑音でも同様なことが考えられます。
- AM 放送受信時、オート選局を使ってプリセット (13ページ参照) を行う場合にひんぱんに自動停止するようであれば、ループアンテナの向きを変えたり倒すことによって強力なローカル局のみオートチューニングすることができます。プリセット後はループアンテナを最良の向き、位置に戻してください。
- 微弱な放送局はマニュアル選局で受信してください。

# FM/AM 放送のプリセット選局

■あらかじめ放送局をプリセットメモリーしておく、ステーションを選ぶだけで正確に呼び出すことができます。

## プリセットメモリーの方法



■数字の順に操作してください。

**1**

**"FM/AM 放送をきく①~④"(11ページ参照)の操作を行い希望の放送局をチューニングする**

- マルチプレックスモードボタンを押してモノラルモード、またはオートモードのどちらかを設定します。
- FM 放送は RF ATT の ON / OFF、AM 放送は NARROW / WIDE の設定状態も放送局ごとにメモリーできます。

**2**

**メモリーボタンを押す**

- 受信バンドと周波数表示が点滅している間のみメモリーできます。プリセット操作中に点滅が終了したときはもう一度①②の操作をくり返してください。点滅中にこのボタンをもう一度押すと、メモリー機能が解除されます。

**3**

**受信バンドと周波数表示が点滅中に希望のステーションコールボタンを押す**

- ステーションコールボタンは、1回押し、2回押し、3回押しでそれぞれ1~12、13~24、25~36のステーションナンバーに対応してメモリーされます。

例： **9/21/33** ボタンのとき

- 1回押し **9表示** —— 9が選ばれる。
- 2回押し **21表示** —— 21が選ばれる。
- 3回押し **33表示** —— 33が選ばれる。

- ステーションナンバーの点滅が終了すると、メモリーが完了します。
- メモリーした放送局は、14ページのステーションメモリーに書き込んでおく便利です。

**4**

**他のステーションにプリセットするときは、①~③をくり返します**

すでに放送局がメモリーされていたステーションコールボタンに新たにメモリーすると、前の放送局は消去されます。

放  
き

# 操作

## プリセットメモリーでの選局

■数字の順に操作してください。

**1**  
電源スイッチを ON にする

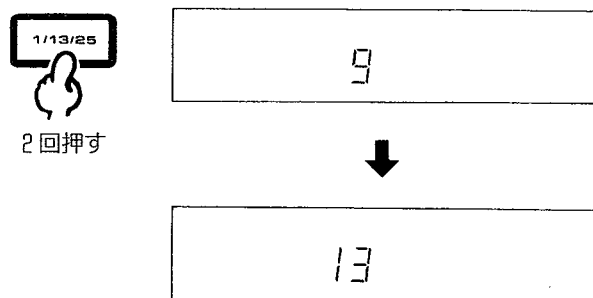
**2**  
希望のステーションコールボタンを押す

- オペレーションディスプレイにステーションナンバーが表示されます。

### プリセットの注意

- 電源を OFF (スタンバイ) にしても電源コードを抜かなければ、プリセットした放送局は消去されません。電源コードを抜いた場合でも、バックアップコンデンサにより電力を供給していますのでおよそ1か月以内でしたらプリセットした放送局は消去されません。
- プリセットした放送局が消えてしまったらもう一度プリセットしてください。

(例) ステーションナンバー 9 の放送を聞いている時にステーションナンバー 13 の放送を聞きたくなったら…



### ラストワンメモリー

- 電源が切れている状態から電源 ON にすると、電源を OFF にする前に聞いていた放送局を受信します。
- 電源が入っている状態でバンド切換ボタンを押すと、バンドを切り換える前にそのバンドで聞いていた放送局を受信します。

## ステーションメモ

1回押す●	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
放送局名												
周波数												
2回押す●●	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
放送局名												
周波数												
3回押す●●●	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
放送局名												
周波数												

# 故障?と思ったら

故障かな?……と思ったら、症状に合わせて下の項目をチェックしてみてください。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のステレオ製品および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下の項目をチェックしても直らない場合は、アフターサービスの項をお読みの上、修理を依頼してください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	●電源コードを接続していない。	●電源コードをコンセントへ接続する。
音が出ない。	●接続コードの接続がまちがっている。 ●アンテナが接続されていない。 ●電源コードを数日間抜いていた。 ●アンプの入力切換がチューナーにセットされていない。	●確実にアンプの TUNER 端子へ差し込む。 ●確実に端子につなぐ。 ●放送局をメモリーしなおす。 ●入力切換をチューナーにセットする。
雑音が多い (「ジー」、「ザーザー」 という雑音が多い)。	FM の場合 ●放送局の電波が弱い。  ●他の機器の雑音が入る (特に自動車を通ると雑音が入る) またはマルチパスが発生している。(マルチパスとは、放送局の電波がアンテナに直接入るものと、山や高い建物に反射して入るものが互いに影響し合い、音がひずんだり、雑音が出る現象です。) AM の場合 ●放送局の電波が弱い。  ●付属の AM ループアンテナの向きが悪い。  ●他の機器 (蛍光灯やモーターを使っている電気製品など) の雑音が入る。	●付属の T 字型アンテナを FM 専用の外部アンテナに交換する。 ●マルチプレックスモードボタンを MONO にする (このときはモノラル受信となる)。 ●アンテナの取り付け位置を変えてみる。また、外部アンテナを使用しているときはアンテナの設置場所を道路から離したり、接続ケーブルを 75Ω の同軸ケーブルに変える。  ● AM モードボタンを NARROW にする。 ●マルチプレックスモードボタンを MONO にする (このときはモノラル受信となる)。 ●アンテナの方向を変えて、よく聞こえる位置にする。 ●雑音を発生させる機器の使用をやめる、または遠ざける。
FM 放送受信時、音がひずむ。	●アンテナの向きが悪い。 ●電波が強すぎる。	●アンテナの方向を調整する。 ●RF アッテネーターボタンを押して ON にする。
放送がステレオなのに、ステレオにならない。	●電波が弱く、アンテナの入力が不足している。 ●マルチプレックスモードボタンが MONO になっている。	●屋外の専用アンテナを接続する。 ●スイッチを AUTO にする。

●落雷、静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを ON/OFF するか、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより、正常に動作します。

# 仕様

## FM チューナー部

受信周波数	76.0MHz~90.0MHz
実用感度	モノ：14.3dBf(1.4 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
S/N 50dB 感度	モノ：18.0dBf(2.2 $\mu$ V/75 $\Omega$ ) ステレオ：38.3dBf(22.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
SN 比(85dBf 入力時)	モノ：80dB ステレオ：75dB
高調波歪率	モノ：0.08%(1kHz) ステレオ：0.15%(1kHz)
実効選択度	76dB(400kHz)
ステレオセパレーション	1kHz：45dB
周波数特性 30Hz~15kHz	$\pm$ 1dB
イメージ妨害比	80dB
IF 妨害比	100dB
アンテナ	75 $\Omega$ 不平衡型

●上記の数値は新 IHF 法による測定です。

## AM チューナー部

受信周波数	522kHz~1,629kHz
実用感度(付属ループアンテナ)	350 $\mu$ V/m
選択度(NARROW 時)	50dB
SN 比	50dB
イメージ妨害比	40dB
IF 妨害比	50dB
ステレオセパレーション(NARROW 時)	31dB
アンテナ	ループアンテナ(付属)

## 出力部

出力端子(出力レベル/出力インピーダンス)

FM(100%変調)	650mV/2.7k $\Omega$
AM(30%変調)	200mV/2.7k $\Omega$

## 電源部・その他

電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力(電気用品取締法)	10W
外形寸法(幅×高さ×奥行)	420×75.5×284mm
重量	2.6kg

## 付属品

FM T 字型アンテナ	]
AM ループアンテナ	]
ピンプラグ付接続コード	]
コントロールコード	]
サービス窓口・ご相談窓口	]
取扱説明書	]
保証書	]

●上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

### 音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。